

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 細谷 誠
幹 事 松村 昌子
会報委員長 内海 慶介

お知らせ

9月のプログラム

4 (No.1)-客話1
11 (No.2)-クラブフォーラム・卓話
18 (No.3)-客話2

ニコニコBOX;

祝誕生月
峠君
矢野七明さん、お帰りなさい！
夏見君

<ニコニコ会計累積/¥88,500>

がんばるBOX;

矢野七明さん、お帰りなさい！
細谷君
卓話を終えて
岸上君

<がんばる会計累積/¥44,000>

例
会
場
・
事
務
局丸
亀
市
塩
飽
町
48
|
1
丸
亀
プ
ラ
ザ
ビ
ル

■会長挨拶

8月最後の例会です。8月は日本人にとってやはり終戦記念日のある特別な月ではないでしょうか。特に今年は戦後80年目の終戦記念日ということで色々特集もありましたが、思えば日本がアメリカと戦ったのは多大な民間人の犠牲のなか3年8ヶ月におよびました。一方、現在進行形であるロシアによるウクライナ侵攻もほぼ同じ3年半になります。この時間を考えるとウクライナの人々の苦悩も少し我がこととして感じられるかもしれません。先週の幹事報告でありましたとおり、いまウクライナの子供たちへの募金を募っています。ロータリーとしてウクライナの人々に何ができるのか、今回の寄付金についてもそんなことに思いをはせながら多くの会員の方がご協力していただければと思います。

さて今日はヤングドリラス期のお話を少ししたいと思います。氷河期が終わり地球が温暖化していったとき、何度か戻り寒波ならぬ戻り寒冷期がありました。そのうち約13000年前にあったそれをヤングドリラス期といい、ヨーロッパを中心に1000年あまり続いたようです。この原因は北米大陸にあった巨大な氷床の一部が破壊的に崩壊し、大量の冷水や氷が短期間に北大西洋に流れ込んだことによる海流循環の崩壊がおこったためだと言われています。急激な温暖化がすすむ現代もヤングドリラス期が再来するのではという警告が学者の間からなされていますが、これはまた次の機会にお話しします。

■例会事業;短期交換留学生報告 会員卓話①

●短期交換留学生報告 矢野 七明 様

みなさん、こんにちは。今から私が3週間のホームステイを体験し、学んだことについてお話しします。私はこれまで家族旅行で海外に行ったことはありましたが、ホームステイは初めてで、出発前は楽しみな気持ちと同じくらい「友達ができるかな」「英語は通じるかな」という不安もありました。ところが現地でホストファミリーが笑顔で迎えてくれ、その不安はすぐに小さくなりました。最初の家庭では、食文化の違いに驚きながらも、ビーチや博物館、野球観戦や遊園地など、友達と挑戦する楽しさを味わいました。特に野球観戦では、応援していた選手がホームランを打ち、地元の人たちと一緒に盛り上がったことが忘れられません。次の家庭では、双子と妹のいる家族にお世話になりました。シンプルな英語やジェスチャーで気持ちが伝わる経験を通して、「文法を気にせずコミュニケーションをとる大切さ」を学びました。日本のお菓子を一緒に食べて感想を言い合ったり、歌を歌ったり、毎日が笑いにあふれていました。別れの日には涙が止まらないほど、かけがえのない時間になりました。そして最後の滞在先は、偶然にも前にお世話になった家族。サプライズでの再会は本当に感動的で、今でも連絡を取り合っています。このホームステイで私は、語学だけでなく異文化を受け入れる姿勢や、心が通じ合う喜びを学びました。戸惑いもありましたが、それ以上に「世界で学びたい」という新しい目標を持つことができました。大学でもう一度留学に挑戦し、現地で出会った人たちと再会できる日を楽しみにしています。3週間は短いようで大きな成長の時間でした。最後に、このような機会を与えてくださったロータリークラブの皆様に、心から感謝いたします。

●会員卓話 岸上 善宣 会員

今回のテーマは「老舗企業の申請数の推移」についてです。まず全国で操業を開始した100年以上の企業は4万5,284社ありまして、そのうち老舗と呼ばれる企業は4万5,280社。全国の企業総数が約160万社ですから、老舗の割合はだいたい2.75%という数字になります。(裏へ続く)



2025.8.28
Vol.63
№6
(2985)

さらに業歴別に見ますと、100年以上の中で200年以上続いているのが1,813社、300年以上になると889社、500年以上は47社、そして1,000年以上となると、ほんの11社しか残っていないんです。時代別では、大正期の創業が4,002社、明治期が22,230社、江戸時代から続く企業は474社、さらに江戸幕府以前からの企業は178社という分布になっています。最も古いのは金剛組で、大化以前から続いておりまして、世界最古級の企業とされています。地域別に見ると、老舗の出現率が最も高いのは京都府で、次いで山形、新潟、福井、滋賀といった地域です。逆に割合が低いのは、九州各県や神奈川県といったところになります。売上規模で見ると、老舗のうち1億円未満の小規模事業者が42.7%を占めておりまして、地域や規模を問わず長く続いてきたことがわかります。業種別では、日本の百年企業は製造業、小売業、卸売業が中心ですが、サービス業はわずか3.6%と少なく、これが海外の19.3%と比べると大きな差になっています。世界全体で100年以上続く企業のうち半数以上が日本に集中しており、200年以上になると65%以上を日本が占めるということで、日本はまさに「老舗企業大国」であることが数字にも表れているわけです。